

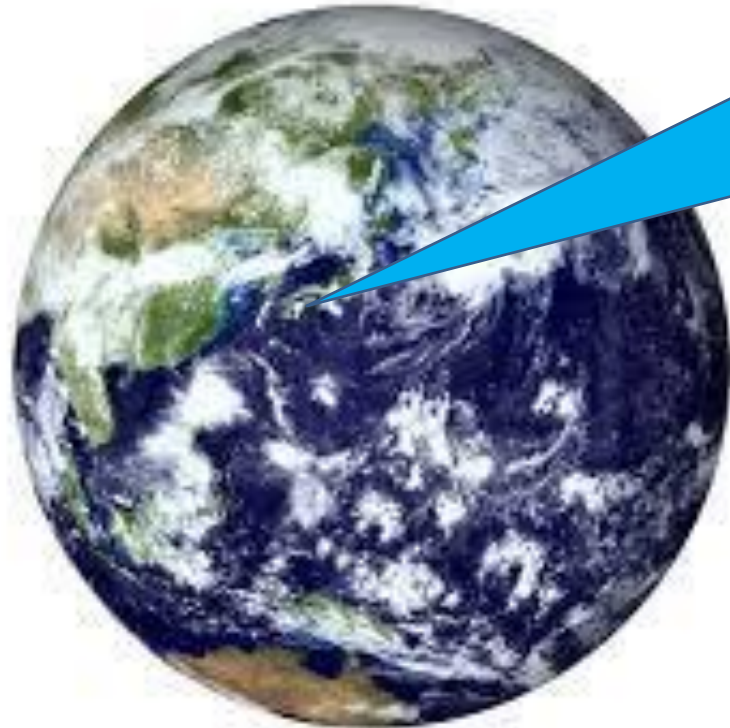
地域とつなぐ鹿屋型コミュニティ・スクール ～地域とつなぐ吾平学 みんなが学校応援団～



鹿屋市立吾平小学校

鹿屋市教育委員会

鹿屋(かのや)市ってどこ？



鹿屋市



人口: 103,607人



学校数: 小学校24校(6,355人)
中学校12校(3,146人)



農畜産王国





バラのまち鹿屋



かのやばら園
5万株



平和公園
特別攻撃隊戦没者慰霊塔





星空の美しいまち輝北 (輝北天球館)



神話のまち吾平 (吾平山稜)

鹿屋市のコミュニティ・スクール

基本理念

学校・家庭(保護者)・地域の三者がそれぞれの役割を担いながらお互いの教育力を高めていく

目的

- 学校運営の質の向上
- 地域の子どもは地域で育てるという地域住民の意識の高まり
- ふるさと(鹿屋)を大切にすゝる気持ちの育成とコミュニティの活性化

地域は学校の
よき理解者であり、支援者である。

鹿屋型コミュニティ・スクール

**学校応援団事業の成果を生かしつつ、
学校評議員制度を一步進めたもの**

**学校応援団事業の成果
を生かしつつ**



カリキュラムを開く(拓く)

学校応援団モデル校としての実績

- 地域ボランティアサポート体制
- 地域のひと・もの・ことの活用

**学校評議員制度
を一步進める**



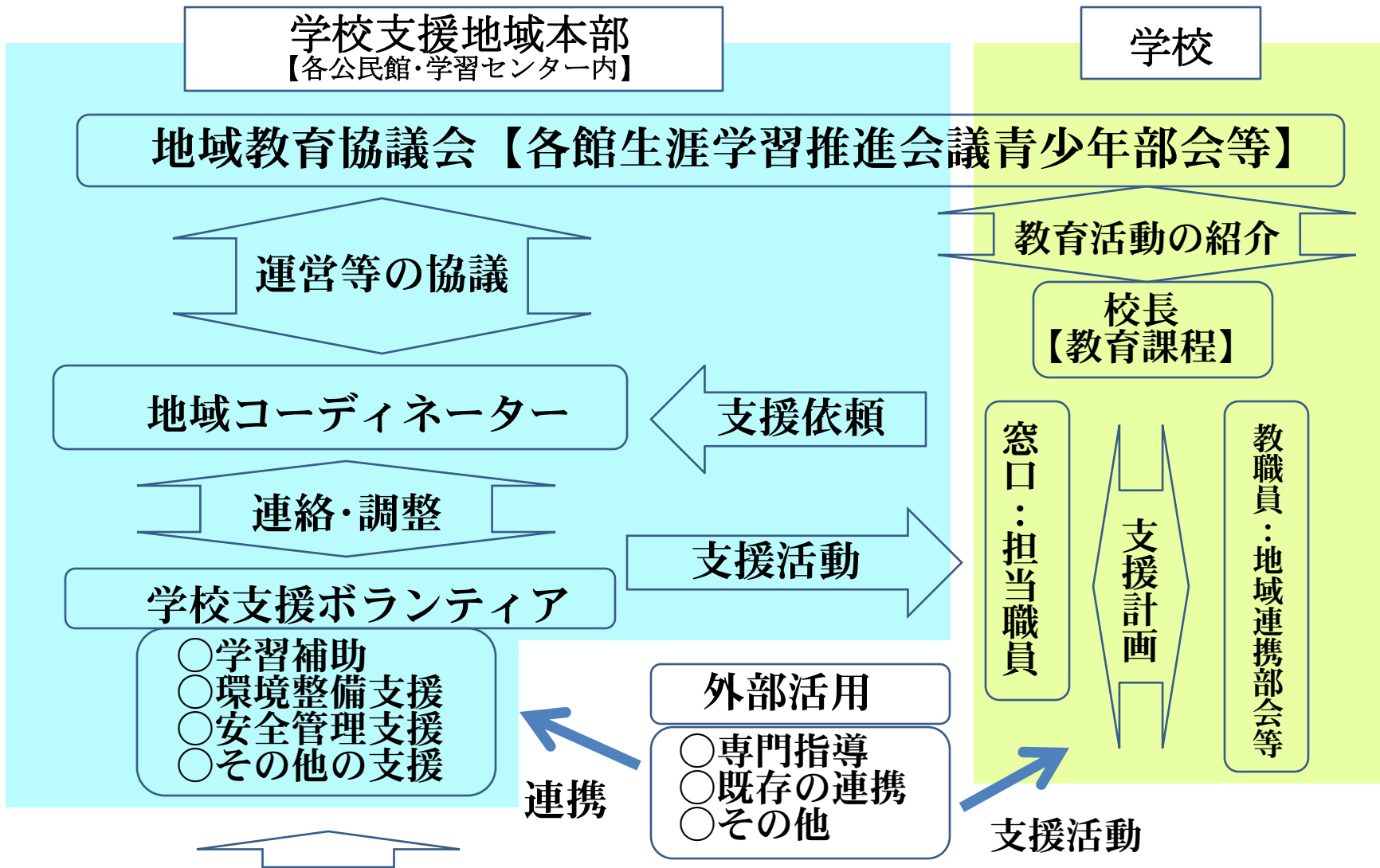
情報を開く(課題を共有する)

学校運営協議会の設置

- 地域、保護者、学校、行政
 - 説明、承認、意見、協議、助言等
- 学校関係者評価**

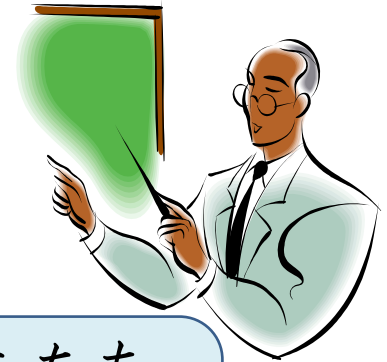
「地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり」

「かのや学校応援団」の組織体制の概要

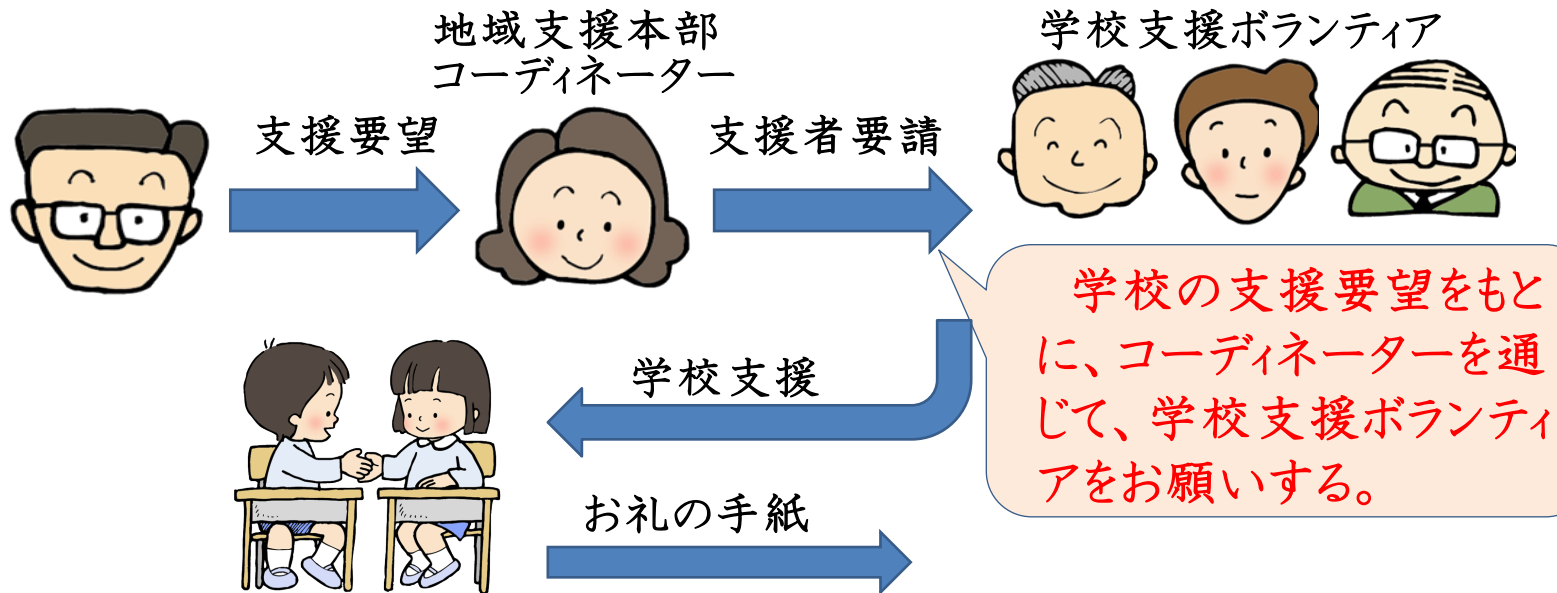


地域支援団による支援プログラム
【大学・企業・NPO・社会教育関係団体・青少年育成市民会議構成団体等】

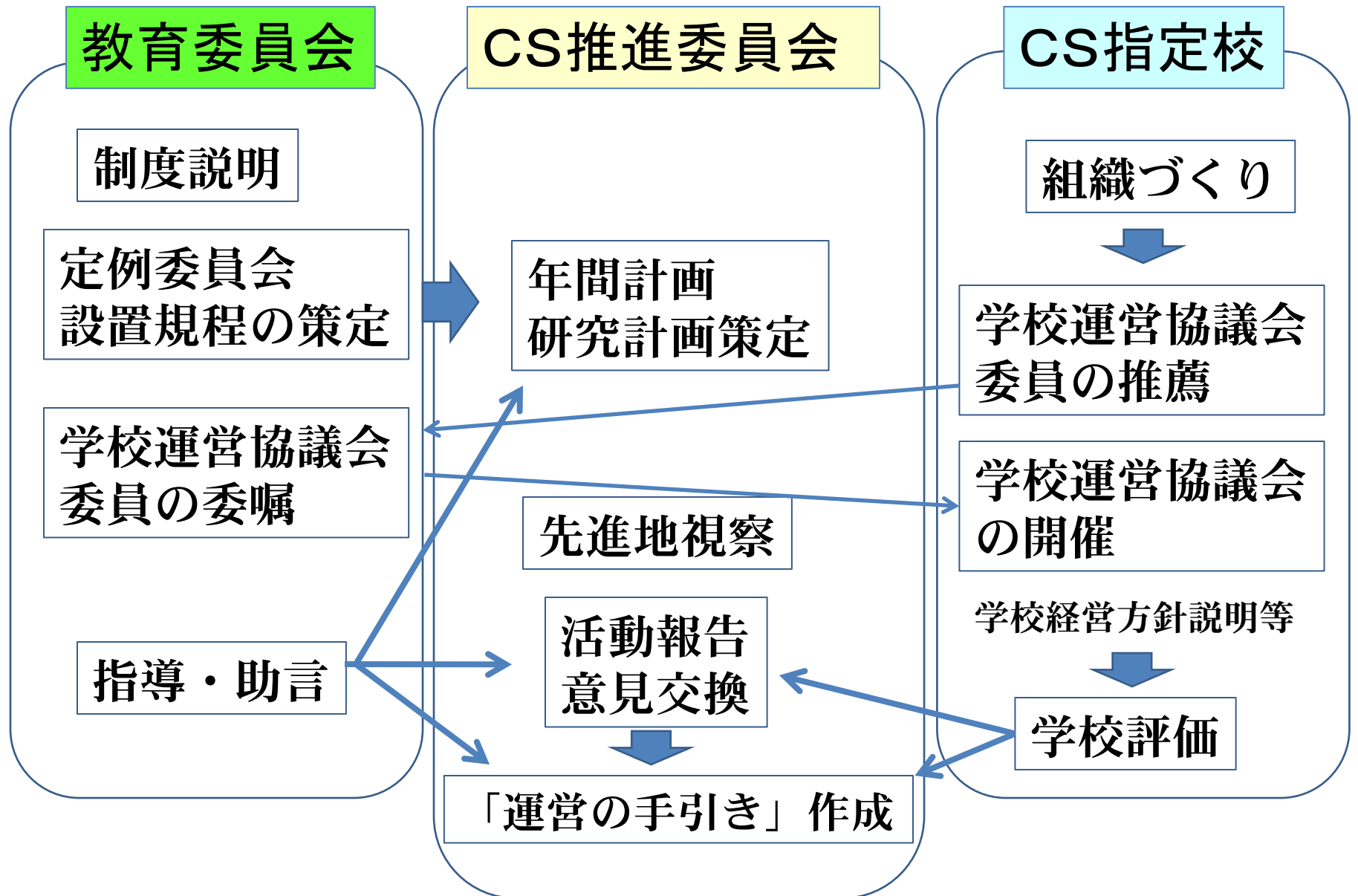
かのや学校応援団



生涯学習の成果の還元及び活用と、子どもたちとの交流を通じた地域コミュニティの活性化
(生涯学習と地域コミュニティの視点)



コミュニティ・スクールまでの過程



鹿屋市のコミュニティ・スクールのスタイル

【学校応援団事業との効果的な連携】

- 学校運営協議会の意見に基づく教育支援活動の実施

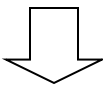
かのや学校応援団

校長



- 〇〇小学校
- グランドデザイン
- ・教育目標
- ・保護者・地域連携に係る教育活動計画

説明



協議・承認



学校運営協議会



意見・説明

様々な年齢の方々との交流を通して思いやりの心を育てたい。

あいさつ運動を通して地域の方々とのふれあいを充実したい。

道徳や教科学習で地域の方々のサポートをいただきたい。

地域支援本部

- 町内会と児童会によるあいさつ運動の展開
- 夏・冬休みの学習会の実施（地域子ども会とPTAの連携事業）
- 総合的な学習の時間や学校行事等での地域人材の活用。（地域住民の学習支援）
- 心の教育を考える週間での座談会の実施等（学校、保護者、地域住民の参加による意見交換）

保護者・地域・学校の三者による教育活動の評価

- 学校運営協議会としての教育活動を定期的に評価し、教育活動の見直しや検討を進めます。
- 学校運営協議会の協議事項を地域支援本部に意見・提案し、学校教育目標の達成を図ります。

CS運営のキーワード

- 1 学校の教育目標・課題及び経営方針等の共有
- 2 学校を中核とした校区全体での子育て観
- 3 地域の教育資源(人・もの・こと)の活用
- 4 生涯学習の場の提供と生きがいづくり
- 5 地域コミュニティの活性化

鹿屋型CS吾平小学校の運営キーワード

- 学校運営の改善を図る<開く>
- 地域の子どもは地域全体で育てる<共育>
- ふるさとを大切に育てる心育てる<吾平学>
- 地域コミュニティの活性化を図る

<地域コミュニティ>



吾平小「学校運営協議会」

説明



承認
意見



学校支援



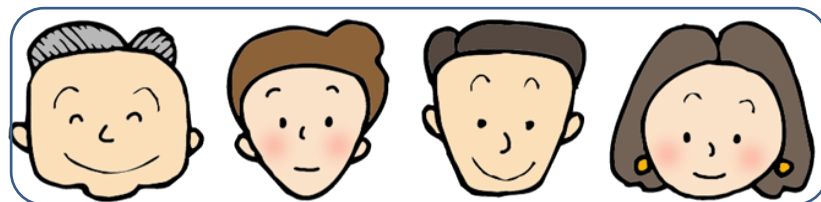
私も吾平小
協議会委員



意見 提案



学校応援団
地域支援本部



地域委員 保護者委員 支援本部CO 学校職員(教頭 校内CO 教務主任
生徒指導主任 保健主任) OB:市教育委員会

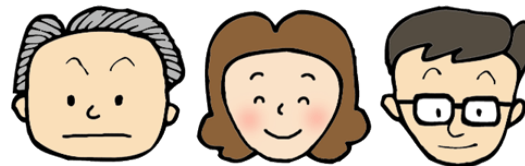
- 1 校長が作成する学校運営の基本方針について説明を受け、これを承認する。
- 2 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べられる。
- 3 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べられる。
- 4 学校応援団地域支援本部に対しても、意見や提案を述べられる。

(注)CO:コーディネーター OB:オブザーバー

ニーズの調整と共育体制の整備

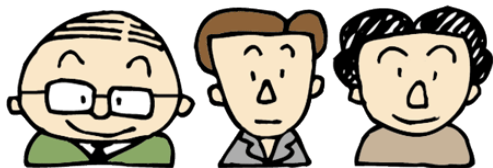
- 地域の教育資源を生かした体験活動をさらに推し進めたい。人材を紹介いただけないか。
- 道徳の時間のゲストとしてお話をしてくださる方を探しているのだが。
- 登下校時の児童の安全を守る体制を整えたい。

学校



- 地域活動に保護者や子どもたちを参加させてもらいたい。
- 学校で高齢者との交流活動をさせてもらえないか。高齢者の生きがいづくりに協力してほしい。
- 伝統芸能の継承が難しいので学校でお願いできないか。
- 町文化祭に児童の作品展示や合唱部出演をお願いしたい。

地域住民



- 合唱部は本校の伝統。指導できる先生の継続的配置をお願いしたい。
- 子どもたちの安全を守るための見守り活動への協力をお願いできないか。
- 家庭教育学級で子育てや郷土料理の指導をしてくださる方はいないか。

保護者



かのや学校応援団 吾平地域支援本部 サポート人材・団体等(支援組織)



<ゲストティーチャー型>

戦争体験語り部 文化財センター職員 元塾講師
鹿屋体育大学学生 町文化協会 無形文化財保存会



<学習補助型>

生活学校吾平支部 高齢者学級 JA吾平 河川愛護会
生涯学習講座生 食生活改善グループ 親子読書会



<環境整備型>

焼酎芋生産組合 建設業協会 造園業協会 森林組合
環境保全NPO法人 PTA事業部 吾平小おやじの会



<安全サポーター型>

安全パトロール隊 民生・児童委員会 PTA生活指導部
吾平道徳教育振興会議 交通安全協会吾平支部

日曜参観授業と 経営方針説明会

6月7日（日曜日）

- 授業参観
- 学校経営方針説明会



第1回学校運営協議会

H26. 7. 25

< 主な内容 >

- (ア) 委嘱状交付
- (イ) 市教育委員会趣旨説明
- (ウ) 会長、副会長、書記選出
- (エ) 学校経営方針等説明及び提案
 - ・ CSグランドデザインの説明
 - ・ 「吾平学」の提案
 - ・ 経営上の課題及び主な教育活動
- (オ) 協議・承認
 - ・ グランドデザインの承認
 - ・ 教育活動に関する意見・感想
 - ・ 学校応援団活用計画
 - ・ 委員研修計画



< 委員 >

町内会長代表
文化協会長
生活学校代表
地域安全パトロール隊長
地域企業代表
PTA会長
学校応援団コーディネーター
教頭 教務主任
地域連携担当

学校、地域社会、家庭が協力して
「**吾平学（あいらがく）**」を推進しよう！

共育目標（豊かな人間性を育む地域づくり）

共育内容
豊かな人間性

- 思いやりや感謝の心、他との協力
- 自己抑制力、役割の遂行と責任感
- マナー、礼儀、規範意識
- 奉仕・社会貢献の精神

吾平の人・もの・ことを積極的に活用した学び



地域社会



学 校



家 庭

地域懇談会

期 間： 8月21～25日
対 象： 校区内全5町内会
対象者： 各町内会役員、
 専門部長、育成会長等

夏休み期間に町内会全てを対象に、学校経営方針及びCS構想等の説明と懇談会を企画。

地域の方々にも、子どもたちの実態、学校の経営方針等を説明させていただき、地域のご意見を伺った。



学校運営協議会委員参観

「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」
期間：11月初旬（県下一斉）



授業参観



委員との交流給食

H26. 12. 16

- 教育委員会の担当者にも挨拶をいただきます。
- 今回は、次年度学校経営方針の説明と承認、第2学期学校経営指針評価、学校支援組織の編成案作成、研修報告です。

第2回学校運営協議会の主な内容

- (ア) 学校長あいさつ
- (イ) 市教育委員会あいさつ
- (ウ) 説明及び協議
 - H27学校経営方針及びグラウンドデザインについて
 - 経営努力点指針と評価について
 - 学校支援組織の編成について
 - 委員研修報告





H27. 3. 3

第3回学校運営協議会の主な内容

- (ア) 学校長あいさつ
- (イ) 市教育委員会あいさつ
- (ウ) 説明及び協議
 - 学校応援団の活用状況
 - H26学校経営努力点評価の説明
 - 学校支援組織の編成について
 - 次年度委員構成等



CS 吾平小学校キャッチフレーズ

～ 地域とつなぐ 吾平学
みんなが学校応援団 ～



生涯学習講座生による活動サポート

吾平学（ 教科：生活科、家庭科 ）



地域住民ボランティアによる授業サポート



地域住民ボランティアによる授業サポート

吾平学(教科:音楽科)



吾平学（ 総合：地域の伝統文化 ）



学校とそば切り踊り保存会との相互サポート



学校と八月踊り保存会との相互サポート



吾平学（教科：生活科「昔の遊び」）



地域住民ボランティアによる授業サポート

吾平学 (総合:環境学習 福祉交流)



環境NPOによる授業・活動サポート



学校と福祉施設との相互サポート



吾平学 (教科:総合, 生活科、体育科)



芋植え準備・活動サポート



ザリガニ釣り講師・活動サポート



林業体験準備・活動サポート



水泳教室 鹿屋体大生講師

吾平学（ 教科：算数科、社会科、道徳、特活 ）



吾平学（ 学校環境整備サポート ）



吾平学(安全サポート)



取組の効果

- (1) 学校運営協議会の開催や学校応援団等の活用により、学校と地域、学校とPTA、PTAと地域など、学校と地域とPTAがそれぞれの課題を共有するネットワークづくりが一層進む。
- (2) 学校支援ボランティアを活用することにより、指導体制の工夫や学習指導の効率化が図られ、教師が児童と向き合う時間も生み出される。

※ H 2 6 年度末学校内評価〔 教師の評価 4 段階評価 〕

| | | |
|------------|------------------------|------|
| 地域連携に関すること | 「かのや学校応援団」や地域資源の積極的な活用 | 4. 0 |
|------------|------------------------|------|

< 教師感想 >

- ・ グループ毎に活動のサポートをしてくださるので助かります。
 - ・ サポーターの皆さんが慣れておられるので、教師も助かります。
 - ・ 活動の準備等のサポートは教師の負担軽減にもなりありがたい。
 - ・ 地域の皆さんから地域のいろいろな情報が得られるので、学習活動の立案もたいへん助かる。
- △ 活動やサポート内容の打合時間の確保が難しい。

取組の効果

(3) 学校支援ボランティアと児童・教師との活発な交流を行うことにより、高齢者の生きがいづくりや地域コミュニティの活性化に貢献できる。

H27. 3. 10



学校応援団地域支援本部が主催するボランティア研修会に出席。学校支援へのお礼を兼ね、CS事業の説明を行う

<学校ボランティア研修会感想>

- 学校支援ボランティアで子どもたちと一緒に楽しく遊べた。元気をいっぱいもらった。ありがとう。
- 子どもたちとの触れ合いが老人には心和らぐひととき。お礼の便りもとてもうれしい。
- 地域行事で「このあいだの〇〇さんだ。」と言われるとうれしくなる。学校に行くのが楽しみ。
- 初めてこの会に参加し、学校教育の様子やCSについて分った。微力ながらわたしも協力したい。

取組 1 年目の課題

1 学校運営協議会委員数枠の拡大

(1) 学校運営協議会内のバランス

地域代表、保護者代表、教職員のバランスをとる必要がある。

(2) 学校運営協議会の運営と学校運営参画意識の高揚

教職員の学校運営参画意識を高めるために、委員として、教務、生徒指導、保健の各主任を揃えたい。

<市学校運営協議会設置規則>

(組織) 第4条 協議会は、委員10人以内で組織する。

※ 委員数枠の拡大

地域委員 5人 P T A 1人
学校応援団 00 1人
学校職員 3人 (教頭 教務 校内00)

地域委員 5人 P T A 3人
学校応援団 00 1人
学校職員 5人



規則改正により、15人以内とする。(H27.4月規則改正)

取組 1 年目の課題

2 委員研修の機会の確保と予算

(1) 学校運営協議会委員の研修機会の確保

先進地や実践校の視察、フォーラムへの参加等を通して、委員としての資質を高めるための研修に努める必要がある。

(2) 委員研修のための予算確保

<市学校運営協議会設置規則>

(協議、助言)

第9条 3 教育委員会は、委員に対し、協議会及び委員の役割、責任等について正しい理解を得るために、必要な研修を行うものとする。

※ 予算の確保<学校運営協議会の運営に係る予算>

○ 会議出席に要する費用弁償(年間3回分)

× 委員研修に関する費用

市教育委員会に実践上の課題として報告、予算の確保を要請
(市事業「学校力向上プログラム」で対応、研修費確保 H27)

学校カリキュラムでの吾平学の推進状況
H27年 年間 30回 延べ人数 207人



ご清聴ありがとうございました